

● 同志会、国会

十月廿四日、同志会、国会
十月廿四日、同志会、国会
十月廿四日、同志会、国会

同志会、国会
同志会、国会
同志会、国会

同志会、国会
同志会、国会
同志会、国会

● 労働農民党と純縁を旨す。

労働農民党と純縁を旨す。
労働農民党と純縁を旨す。
労働農民党と純縁を旨す。

を標して之が諸派に全力を拵り、八幡支部創立準備に對しても又積極的に之が支持し努力を今日に及べり、然るに党中央に於ける左右両派の抗争は一日と激甚化し遂に去る十月廿四日の第四回中央執行委員会に於ては左右両派の衝突となり、遂に右翼及中間派諸團體が總崩壊となり我々が過去一々年間が努力は水泡に期し労働農民党が農民組合と製糖労働の一部が残留するのみにて全く大衆的統一政黨としての實を失ふに至つた。

茲に於て我々等は上京委員の帰郷を待りて、十月廿七日拡大執行委員会を召集して之に對する対策及今後之の運動方針を決定すると共に更に三十日拡大中央委員会を召集して慎重協議の結果次の如く決定を見事に至つた。

▲ 労働農民党と純縁に決す。

労働農民党は右翼の極端なる進出に依つて遂に右翼及び中間派の諸団体は總崩壊し結果、残留せるは唯日本農民組合と製糖労働の一部にて、統一政黨としての二つの條件たる階級的である事と、大衆的である事、大衆を先つて大衆党たるの實を失ひ、従来之の行動より見るも亦り現実を無視して理論上之を爲大衆とせば在れざる等々其他各無産階級の状況、思想系統等より批判して見ても、現在之日本の状況に於ては我々の組織と不可成とし且つ、九州の資本主義の